



誇りを、まと纏う

行田市議会

行田市議会

ぎょうだ

議会

だより

もくじ

■法被姿で全力応援！

議会が伝える地域の魅力……2

■市長提出議案……3～5

■提出議案とその結果……6～7

■常任委員会の動き……7～8

■市政に対する一般質問……9～14

■議会日誌……15

■12月定例会日程表(予定)ほか……16

| | | |
|----|-----|-------------|
| 3月 | 6月 | 定例会は 年4回 |
| 9月 | 12月 | |

令和7年11月12日発行

No.126

はっぴ
～法被姿で全力応援！
議会が伝える地域の魅力～

今号の表紙



9月議会初日である9月1日に、議場にて足袋とスリッパをあしらった法被^{はっぴ}を着用し、地場産業のPRを行いました。

この法被^{はっぴ}は、行田市の足袋やスリッパに興味を持っていただける機会となるよう、毎年夏に実施される浮き城まつりや、全国から行田市に行政視察に訪れる方々をお迎える際など、折に触れて着用しています。

法被^{はっぴ}のすそにある模様は、よく見ると、足袋と2種類のスリッパの柄になっていることにお気づきいただけましたか？



9月定例会

補正予算、条例改正、決算認定など 24議案を審議しました

市長提出議案

条例改正等

○行田市斎場条例の一部を改正する
条例 (原案可決)

家族同様のペットの生涯を最後まで見届けたいという市民の声に応えるため、斎場敷地内に建設中の、小動物火葬棟の令和8年2月からの供用開始に向け、所要の規定を整備するものです。

また、人体の火葬に係る斎場使用料について、平成14年の料金改定以降23年が経過し、物価上昇や燃料単価及び人件費の高騰等により、火葬に要する費用が増加していることから、故人との最後のお別れの場として、将来にわたって斎場を安定的に管理、運営していくため、火葬室の使用料を改定するものです。



建設中の小動物火葬棟

○行田市土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例の一部を改正する条例 (原案可決)

現在、市民の良好な生活環境の保全及び災害の防止を図ることを目的に、事業区域3百平方メートル以上3千平方メートル未満の土砂等の埋立て、盛土、その他の土地への土砂等の堆積について必要な規制を行っています。

令和3年に静岡県熱海市で発生した大規模な盛土崩落を受け、危険な盛土等を全国一律の基準で包括的に規制するため、宅地造成及び特定盛土等規制法が施行されたことに伴い、県の規制対象となる5百平方メートル以上の土地の埋立て等について、本条例の対象外とするため、面積要件を改正するものです。

○行田市重度心身障害者医療費助成条例の一部を改正する条例 (原案可決)

埼玉県の重度心身障害者医療費支給事業補助金交付要綱の改正により、医療費の助成の対象範囲が拡大されることに伴い、本条例が定義する重度心身障害者に、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律施行令において定める2級相当の障害を有する方を新たに追加し、精神

通院医療費の助成を行うものです。
○行田市下水道条例の一部を改正する条例 (原案可決)

令和6年1月に発生した能登半島地震において、多くの家屋で排水設備等が破損したことや、これにより排水設備等の復旧が遅れることとなったことから、国土交通省で定める市町村の下水道条例の制定等に関する事務の参考となる標準下水道条例等が改正されたことを踏まえて、災害等において、排水設備等の工事を行うことができる事業者の範囲を拡大し、工事の円滑な実施を確保するため、他の市町村長または管理者の指定を受けた指定工事店でも、工事を行うことができるよう改正するものです。



能登半島地震の被害

○行田市水道事業給水条例の一部を改正する条例 (原案可決)

能登半島地震において、水道事業者が管理する配水管が復旧した以後、個人が管理する宅内配管の復旧が遅

れ、家庭で水が使用できない状況が長期間続いたことについて、災害等非常の場合は、市民の生命・財産を守る観点から、市長または市長が指定した指定給水装置設置工事業者以外でも給水工事が行えるものとし、宅内配管の早期復旧に対応できる業者を確保するための改正するものです。

補正予算
補正総額
1億4454万円余り
(原案可決)

行田市基本構想の重点施策のひとつである教育の充実のほか、まちの活性化につながる施策や当初予算計上後の事情変更に伴う所要経費など、必要な予算について措置したものです。

歳出の主な内容は、総務費では、公共施設再編に係る検討を本格化するため、市民向けワークショップや企業向けサウンディング調査を実施します。

衛生費では、来年2月から行田市斎場敷地内において新規稼働予定の、小動物火葬棟における業務を指定管理者に新たに委託するための経費を措置します。

農業費では、スマート農業等推進補助金について、市内農業者等から

当初の見込みを上回る申請があったことから、さらなるスマート農業技術の活用促進を図るとともに、本市の基幹産業である農業の所得増大に向けた積極的な取り組みを支援します。



行田市の農業

商工費では、観光庁の地域観光魅力向上事業補助金が採択されたことから、新たな移動手段である電動キックボードに付加価値を付けた行田ストーリーライドツアーを新たに造成し、観光客のさらなる回遊性の向上を図ります。

教育費では、義務教育学校設置に向けた再編計画に基づくBブロック新校設置に当たり、当該用地の先行取得等にかかる経費を措置します。

なお、これらの歳出を賄う財源として、国・県支出金、寄附金、繰越金により措置するものです。

【主な質疑】

問 公共施設マネジメント支援業務委託料について、官民連携とのことだが、詳細な説明を求める。

答 サウンディング調査は、中心市街地における公共施設再編を官民連携で進めるに当たり、第一段階として、持続可能な民間企業を把握するためのものである。ワークショップは、市民にとって魅力的な中心市街地の姿を把握するために、市民が参加するワークショップの開催を最低2回分見込んでいます。

問 現在行われている公共施設マネジメント計画の見直しと関連はあるか。

答 公共施設マネジメント計画の改定、見直しとは別のものである。

問 まちなかウォークアブル推進事業費の詳細な内容は。

答 駅前広場再整備工事の内容を確定する過程で、南側の交差点において雨水排水施設が影響を受けることが判明したため、設計延長を150メートル追加する。また、コンクリート製品やアスファルト合材などの資材価格や人件費の高騰により不足が見込まれるものである。

問 観光客誘致推進事業委託料において、電動キックボードで公道を走

行するに当たり、安全対策は講じられているか。

答 コースを選定する際には、安全性を優先し、極力遊歩道を使用したり、ツアー前に参加者全員に安全講習を実施するほか、ツアー時はガイドが先導するなど、安心で安全に走行できると考える。

人 事 案 件

○行田市教育委員会委員の任命につき同意を求めるについて (同意)
大竹洋平氏の教育委員会委員の任命について同意しました。

決 算 令和6年度の決算を 可決及び認定

令和6年度行田市一般会計歳入歳出決算認定をはじめ、水道事業会計及び公共下水道事業会計並びに4特別会計（国民健康保険事業、交通災害共済事業、介護保険事業、後期高齢者医療事業）の歳入歳出決算認定については、所管の常任委員会審査を行い、原案可決及び認定しました。

【主な質疑】

問 防犯カメラ設置事業について、映像の保存や利用について、どのようなルールを設けているか。

答 「行田市防犯カメラ設置及び管理に関する要綱」及び「行田市防犯カメラの設置及び運用に関するガイドライン」に基づいて、法令の規定に基づく場合や、犯罪や事故の捜査を目的とする場合等を除き、記録された映像の第三者への閲覧または提供を禁止するなど、個人情報保護に関し適切な措置を取りながら運用している。

問 郷土博物館の管理運営に対する経費は増加傾向だが、それを補填する入館料収入は減少していることについて、入館料を増額することはできないか。

答 郷土博物館は公立の博物館であり、博物館法において本来入館料は原則無料と定められているところを、維持管理のためにやむを得ない場合として入館料を徴収している。本来の博物館の入館料としては適正であると考ええる。



郷土博物館

問 空調設備更新工事請負費について、公共施設マネジメント計画にお

いて産業文化会館はあと約5年で除却となっている。本当に必要な改修だったのか。

答 産業文化会館ホールは有料貸出施設であることから、一定の利用環境を確保しなければならないとの考えにより工事を行ったものである。

問 生活路線バス運行支援事業において、各路線への負担金、補助金が前年度、前々年度と比較して大きく減額となっている理由は何か。

答 新型コロナウイルス感染症拡大により緊急事態宣言や外出制限措置が講じられた年度であったことから、一時的に増額となっていたものが、利用者の回復等に伴い収支が改善した等の理由によるものである。

問 企業誘致促進事業において、誘致候補地の埋蔵文化財を市が先行試掘した結果の情報は、企業に対してどのように提供し、誘致活動を行っているのか。

答 企業誘致課が相談を受けた場合に、試掘結果の情報提供を実施している。今後は市のホームページ等に掲載するなど、窓口に来ることなく情報提供ができるよう検討していく。

問 ふるさと納税推進事業について、ポータルサイトを6社から9社に増やしたが、寄付額が減少したという

結果について、原因をどのように分析しているか。



答 本市において人気の高い返礼品が、製造業者の生産調整により供給が滞ったため、断続的に欠品が発生したことにより寄付額が減少したものと分析している。

問 ふるさと納税管理業務委託先について、一般競争入札を行う予定はあるか。

答 現在契約している事業者を変更する場合、返礼品提供事業者と新たな委託業者との間で返礼品の配送等にかかる再契約や、掲載サイトへの情報の再登録等の負担が生じ、ふるさと納税事業に不利益と考えられるような事態が生じる可能性があることから、随意契約としている。

議員提出議案

○最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書（原案可決）

厚生労働省埼玉労働局は、埼玉県最低賃金を令和7年11月1日から時

間額1141円に改正されることを発表した。これは、時間額表示となった平成14年度以降、最も大きい引上げ額（63円）となる。

また、厚生労働省及び経済産業省では、最低賃金の引き上げにより、影響を受ける中小企業・小規模事業者への各種支援策を実施している。

さらに、中小企業庁では、過去最大となった今般の最低賃金引上げに対応する中小企業・小規模事業者を後押しするべく、これまでの取組に加え、新たな対応策も含めた支援策を令和7年9月9日に公表した。

しかし、諸税金や社会保険料の負担に加えて、住居費、食費、水道光熱費等の支払いは、世界的な物価高騰によって、より一層厳しいものとなっている。

国民の暮らしを守り、経済の好循環をつくるためには、賃金引き上げの余力を確保できるよう中小企業・小規模事業者への支援を進めつつ、政府目標に向けて大幅な引き上げによる賃金の底上げが必要である。

よって、本市議会は、最低賃金を抜本的に引き上げること及び中小企業支援策の更なる拡充を実現するよう国に求める。

（提出先 内閣総理大臣ほか）

(市長提出議案)

(賛成:○ 反対:×)

| 議案 番号 | 会派名及び議員名 議案名 | 議 決 結 果 | 令和研究会 | | | | | | | 蒼倫維新 | | | | 公明党 | | | 日本 共産党 | | |
|--------------|---|------------------|----------|------------------|-------------|------------------|-------------|------------------|---|-------------|------------------|------------------|------------------|-------------|-----------------------|------------------|------------------|-------------|-------------|
| | | | 小林 淳一 | 駒 見 行 彦 | 新 諒 平 | 村 田 清 治 | 小 林 修 | 橋 本 祐 一 | 福 島 と も お | 町 田 光 | 野 本 翔 平 | 梁 瀬 里 司 | 香 川 宏 行 | 岩 崎 彰 | 小 野 寺 貴 男 | 養 田 英 雄 | 吉 田 豊 彦 | 大 屋 彰 | 木 村 博 |
| (議案) 第53号 | 専決処分の承認を求めるについて (令和7年度行田市一般会計補正予算 (第2回)) | 承認 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | | | | | | | | | | |

※議長は採決に加わりません。(可否同数の場合は議長裁決となります。)

(市長提出議案)

(賛成:○ 反対:×)

| 議案 番号 | 会派名及び議員名 議案名 | 議 決 結 果 | 令和研究会 | | | | | | | | | | 蒼倫維新 | | | 公明党 | | | 日本 共産党 | | | |
|----------|---------------------------------------|----------------------|----------|----------|---------|----------|---------|----------|-----------|---------|----------|----------|----------|---------|-----------|----------|----------|---------|-----------|----------|----------|----------|
| | | | 小林 淳一 | 駒見 行彦 | 新 諒平 | 村田 清治 | 小林 修 | 橋本 祐一 | 福島 ともお | 町田 光 | 野本 翔平 | 梁瀬 里司 | 香川 宏行 | 岩崎 彰 | 小野 寺貴男 | 養田 英雄 | 吉田 豊彦 | 大屋 彰 | 木村 博 | 田中 和美 | 村田 秀夫 | 斉藤 博美 |
| 第72号 | 令和6年度行田市水道事業会計利益の 処分及び決算の認定について | 可決認定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × |
| 第73号 | 令和6年度行田市公共下水道事業会計 利益の処分及び決算の認定について | 〃 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × |

(議員提出議案)

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------|--------------------------|----|---|---|---|---|---|---|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| (議) 第1号 | 最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書 | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
|------------|--------------------------|----|---|---|---|---|---|---|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

※議長は採決に加わりません。(可否同数の場合は議長裁決となります。)

常任委員会の動き

○審査概要・活動

総務文教常任委員会

令和6年度行田市一般会計予算

(第3回)

○公共施設再編事業

問 中心市街地における公共施設の再編に関し、具体的な公共施設はどこか。

答 中心市街地の範囲については、市役所本庁舎、産業文化会館、忍小、学校、忍中学校、またバスターミナルから南側の水城公園のエリアを想定している。

○義務教育学校用地先行取得事業

問 今後、用地買収を行い、新しい建物を建てるという計画だが、現時点で総事業費等は算出されているのか。

答 施設の整備方法等については、今後作成する基本構想の中でお示しするため、具体的な整備費についてはまだ金額等は出ていない。

問 都市計画決定の時期は、いつ頃を想定しているのか。

答 令和8年秋頃を見込んでいる。

令和6年度行田市一般会計歳入歳出決算認定

○ふるさと納税促進事業

問 ふるさと納税事業について、市はどのようなスタンスで、今後取り組んでいくのか。

答 財政が厳しい中、努力すればするほど自主財源につながるから、今後も制度が継続する限り、財源の確保に取り組んでいく。

○ホップ・ステップ・ジャンプ外国語教育事業

問 児童生徒の英語力を高めるとのことだが、中2、中3の英語について、埼玉県学力・学習状況調査では、県平均を下回っている。どのように分析し、今後の対応をしていくのか。

答 学力を伸ばした教員の授業等を分析し、その指導方法について他の教員に広めたり、また、学習支援教員を生かして、個に応じた基礎学力の徹底について推進していく。

○いじめ不登校対策事業

問 いじめの要因について、近年での特徴はなにか。



答 これまでと同様、人間関係のトラブルのほか、SNSの広まりによりLINEなどによるトラブルが増えている。

○就学援助事業

問 就学援助について、経済的に困窮している方への負担軽減とあるが、対象要件は。

答 経済的な理由によって就学困難と認められる世帯の保護者に対し支給しており、生活保護基準の1.3倍未満の世帯を基準としている。

建設環境常任委員会

○行田市斎場条例の一部を改正する条例

問 改正後の火葬料金は近隣市と比較してどうか。

答 12歳以上の市民及び12歳未満の市民の火葬料金は熊谷市、加須市と同額となっている。

令和6年度行田市一般会計歳入歳出決算

問 特色ある農業の推進事業及び環境保全型農業支援事業について、効果測定はされているのか。

答 特色ある農業の推進事業においては、行田在来種の青大豆では多くの商品化が図られ、枝豆は「さきたまめ」としてPRを図っている。

環境保全型農業支援事業においては、有機農業などを中心とした形での作業を行っている方に補助しており、高付加価値の商品の生産に寄与している。



行田産「さきたまめ」

問 水城公園東側園地再整備事業で、北口駐車場はどの段階で計画されたものか。

答 平成28年3月に策定した水城公園東側園地再整備基本計画を踏まえ、北口駐車場のほか、複合遊具やじゃぶじゃぶ池などを整備したものである。



水城公園北口駐車場

令和6年度行田市交通災害共済事業費特別会計歳入歳出決算

問 全体収支で不用額が4千万円ほど出ており、毎年多くの不用額が出ているが、基金への積立てや、会費を少なくするなどの考えはあるか。

答 不用額については会費収入に対して見舞金の金額が結果的に少なかった、つまり交通被害にあわれた方が少なかったことによるものであるが、毎年多額の不用額を発生させていることも事実で、会費や給付面など、制度全体での見直しも必要であると考えている。不用額を発生させないためには、基金への積み立ても一つの方法であるとも考えるが制度の見直しと一緒に総合的に考えていきたい。

健康福祉常任委員会

○令和6年度行田市介護保険事業費特別会計歳入歳出決算認定

問 介護認定審査会において、ペーパーレス化やオンラインでの参加などを開始したが、その成果はどうか。

答 書類のデジタル化によって、資料送付までの時間が延びたことで、1回の審査会で審査できる人数が増加したことは成果だと思っている。

問 介護認定の判定結果が出るまで

平均で52日を超えていたと思うが、改善することはできないのか。

答 市民の方やケアマネジャーからの声も届いていた。現在、医師会の先生方とも協力し改善に取り組んでおり、今年度の7月までの結果においては、平均42日・43日と短縮されたが、今後も努力していきたい。

令和6年度行田市一般会計歳入歳出決算認定

○救急救命士養成事業

問 救急救命士の資格を持っている職員は本市では足りているのか。

答 本市の救命活動上、人数が不足しているという認識はないが、1隊につき救急救命士が2名搭乗することで安全性が高まることを考えると、常時2名搭乗するためにはもう少し養成が必要と考えている。



救急救命士の病院実習の様子

問 厚生労働省の定めるガイドラインに基づいた病院実習の内容は。

答 救急救命士の資格を有する者

は、2年間で128時間以上の再教育を受けることが努力義務となっている。そのうち48時間以上は医師の管理下で病院実習をする必要があり、救急患者のバイタル測定や点滴処置など、技術的な研修を行っている。

○民生委員活動支援事業

問 令和5年度には民生委員の人数が14名不足のことであつたが、昨年度は解消されたのか。また、民生委員を増やすためにどのような努力をしたのか。

答 昨年度の民生委員の定数は167名で実際の人数が152名であり、15名の欠員となった。また、昨年度は市ホームページ及び市報において初めて欠員している地区を紹介し民生委員の応募を行った。今年度においても、民生委員の活動を見える化し、必要な取組だけを行ってもらうよう負担軽減を図っていきたい。

○子ども等多世代の居場所づくり支援事業

問 多世代交流事業の対象年齢は。また、昨年度取り組んだ事業内容は。

答 多世代交流事業については、年齢制限はなく、子どもからお年寄りまで参加可能であり、主にコンサートや手づくり体験、クリスマス会などの季節のイベントを実施している。

市政について、
各議員がみずからの政策提言も含めて、
市に考えを聞くのが「一般質問」。
9月定例会では16人の議員が一般質問を行いました。

一般質問

◆会議録

冊子は市役所市政情報コーナー、図書館でご覧いただけます。
※9月定例会の会議録は12月に発行予定です。

◆インターネット議会中継

市議会の様子(生中継・録画映像)をパソコンやスマートフォンでご覧いただけます。
また、各議員の写真脇にあるQRコードから一般質問の録画映像をご覧いただけます。



専用アプリで読み取ると
議会中継がご覧いただけます。

公民連携について

木村 博(公明党)



問 本市が初めて採用した公民連携の手法と事業名、時期、目的とは。

答 平成18年度から総合体育館を含む市内体育施設他9施設で指定管理者制度を採用し、効果的かつ効率的な住民サービスの提供を図った。

問 近年、本市において初めて採用した公民連携の手法と事業名、期待した効果とは。

答 新ごみ処理施設整備運営事業においてDBO方式を採用し、高い経済性を期待した。

問 今後の公民連携の必要性について本市の見解は。

答 民間の資金、技術、知識を活用することで、多様な公共サービスの提供や地域が抱える課題解決が可能となる。

問 公民連携を条例化等で明文化して市民に浸透させていく考えはあるか。

答 本市では条例設定の予定はしていないが、他の例なども調査研究して市民に理解が深まる形を検討していく。

〔その他の主な質問〕

○防災減災について

○予防医療の推進について

公共施設における不審者対応

香川 宏行(令和研究会)



令和5年8月に立川市で発生した小学校への不審者侵入事案は、まだ記憶に新しい。

問 本市における防犯マニュアルはあるか。

答 小・中学校、公立保育園及び地域公民館において策定されている。

問 不審者の侵入等があった場合、現状、どのように対応するのか。

答 直ちに警察署に通報するとともに、警察官が現場に到着するまでの間、複数の職員が連携し、さすまたなどを使用し、不審者の行動を制止したり、避難を呼びかけるなど、人命の保護を最優先に対応する。

問 さすまたの保管状況は。

答 それぞれの施設で、すぐに取り出して使用できるように配置している。

問 侵入を想定した実践的な訓練の実施が重要であるが、専門家の指導が必要ではないか。

答 現在も警察署や警察OBが講師を務めているが、より実践に近い形を検討していく。



市内3校になる小中一貫・義務教育学校 再編計画の課題と疑問

齊藤 博美(日本共産党)



問 3つのブロック計画は何を重視して作成したのか。

答 ①施設一体型の義務教育学校が設置可能な敷地面積②徒歩や自転車通学可能な児童、生徒の割合③通学区域内の地域バランスの3つである。

問 ①について、学校の敷地内に駐車場を設ける敷地がない。学校が遠くなることで運動会、授業参観、同日時に保護者の来校が集中するが1世帯1台で来る場合の想定は。

答 駐車場の確保に課題があり、学校施設の配置の見直し、敷地の拡張、周辺の土地の利活用も検討の必要がある。

問 スクールバスの運行台数は何台見込んでいるか。

答 開校の3年前に関係者の意見を聞きながら、検討する。

問 広域の再編でありバス利用者が多い。初めに乗車した者は乗車時間も長く(現在、忍小再編で40分)、台数が多いことで多額の費用が発生。さらに候補地の長中、行中の道路が狭いが同時刻の通学で周辺道路の渋滞等の問題は。

答 今後検討していく。

忍川の治水機能の向上及び 内水対策事業について

小林 修(令和研究会)



問 一級河川忍川における浸水対策重点地域緊急事業として県において調節池、河道拡幅、橋梁架替え、用地買収、市において校庭貯留、田んぼダムの各事業が全体事業費75億円、事業期間令和3年度から令和8年度の6カ年事業として実施されている。令和7年度の行田市忍川浸水対策連絡協議会において、県事業の調節池、河道拡幅、橋梁工事の完成が令和8年度から令和17年度までの9年間延期になり、事業期間が15年間になるとの説明があったが、市として説明前にも事業の遅延について危惧していたのか。

答 市としては、県事業の進捗状況を踏まえると来年度末の事業完了は非常に厳しいものと懸念していたが、市の取組を計画的に進めるとともに、市民の方々が一日も早く安全安心に生活を送れるよう、県に事業の早期完成を強く働きかけてまいりたい。

〔その他の主な質問〕

- まちなかウォーカーカブル事業
- 子供の遊び場整備事業

小・中学校体育館へのエアコンの設置を

梁瀬 里司(令和研究会)



問 小中学校の体育館は、体育の授業や集会等で使用することが多く、また昨今の猛暑や熱中症対策及び災害時の避難所施設となるため、小・中学校体育館にエアコンを設置すべきと考えるがどうか。

答 近年、記録的猛暑が続く中、熱中症警戒アラートや暑さ指数に基づき、学校体育館における授業や部活動を制限せざるを得ない現状があると認識している。

現時点では、学校体育館へのエアコンの設置は未定であるが、避難所機能としてのエアコンの必要性は十分認識していることから、災害時に学校が避難所となった場合には、状況に応じて校舎等を活用するなど、柔軟な対応を図っていく。

〔その他の主な質問〕

- 子どもたちのため、親水公園の整備(ウォーターパーク等)
- 道路整備要望
- J R 行田駅前県道の歩道整備
- 公共施設の暑さ対策



地域防災力の向上について

大屋 彰(公明党)

- 行田市では地域の防災リーダー育成や地域防災力の向上を目的として、令和4年度より、行田市防災士養成講座を開催し、幅広い多様な層で防災士を養成し、地域防災力の強化を図っている。
- 問** 本市の防災士養成講座での防災士の取得状況は。
- 答** 令和4年度82名、令和5年度79名、令和6年度70名、令和7年度が現時点で35名、4年間の合計は266名。
- 問** 取得後の防災知識、技能向上のための研修等の実施状況は。
- 答** 市の防災訓練、防災フェア及び防災士研修会等で、机上研修に加え、実践的な応急手当訓練や炊き出し訓練を実施している。
- 問** 今後の防災士育成は。
- 答** 昨年度から、防災士養成講座の受講対象者を中学生以上とし、要配慮者が利用する幼稚園、保育園、高齢者施設の職員を加えた。本年度は熊谷市と共同で、防災士養成講座を実施。来年度も引き続き、熊谷市と共同で実施予定。

夏休みの見直しも、そろそろ必要なのでは？

野本 翔平(令和研究会)



- 問** せっかくの夏休みだが気温が高すぎて何もできない。海や避暑地に行くのが困難な家庭も少なくない。異常な気温上昇や、学校へのクーラー完備など状況も変わった中で夏休みはこのままでいいのだろうか。そもそも夏休みの目的とは何か？
- 答** 特に定めはなく、行田市としては、児童生徒の心身の休養と、学校ではできない多様な体験、としている。
- 問** 今、行田の夏は暑すぎて心身の休養も、外での多様な体験もできない。それなら春と秋が最適なのでは。大胆な見直し案として、夏休みは二週間にし、春休みに二週間追加し、また新たに二週間の秋休みを設けてはどうか。
- 答** 他市の状況も踏まえつつ調査研究する。



より良い多文化共生のために／日本遺産構成文化財「行田音頭」

駒見 行彦(令和研究会)

- 問** 多文化共生のための、地域住民の皆様に対する支援について。
- 答** 自治会長に向け「やさしい日本語」の研修準備を進めている。
- 問** カタログポケットという多言語対応アプリを、近隣市では外国人への住民サービスとして導入している。本市はどうか。
- 答** 外国人にも対等にサービスを提供するために必要と認識しており、導入について検討していきたい。
- 問** 浮き城まつりや地域のお祭りで行田音頭を活用してみたい。
- 答** 継承活用する上で有効な手段であると考えている。今後お祭り実行委員会、主催者に働きかけていく。
- 問** 夕方5時の防災行政無線の放送を行田音頭に変えてみては。
- 答** この放送は子どもたちへの帰宅時間の注意や、防災行政無線放送の点検の一環であるため、聞きやすさなどを踏まえ調査研究していく。



激変する生態系から市民生活を守るために

小野 寺 貴 男 (蒼倫維新)



問 巨木化する雑木、特にアカメガシワは、空き家等で一旦生育すると、枝木が伸びて道路に覆いかぶさるほどに巨大化してしまう。現状の被害対策、課題は。

答 雑草やアカメガシワ等の雑木の相談があつた場合、市職員が現場の確認を行つており、雑草、雑木が繁茂していて隣家の敷地に越境するなど、近隣住民の生活環境に悪影響を及ぼし、十分に管理がなされていない場合は、土地所有者または管理者に雑草、雑木の除去を指導している。

課題としては、気候変動や生態系の変化などにより、動植物に関するトラブルも変化してきていると感じている。引き続き、他自治体の対応なども参考にしながら、生活環境の保全に努めていく。

【その他の主な質問】

○公共施設マネジメント計画における、廃校となる学校施設、保育所、学校給食センターの今後について

○若い世代の市政への参画を増やすには。

行田市の未来を見据えて

小 林 淳 一 (令和研究会)



問 行田市の人口動態はどう変化しているか。

答 近年、社会増に転じているが、主な要因は外国籍の方の入増である。課題は日本人の若年層の流出である。

問 課題への対策は何か。

答 子育て支援や教育の充実を通じて、移住・定住を促進し、住み続けたいまちを目指している。

問 鬼滅の刃コラボの田んぼアートについて、どんな成果があり、今後どう展開していくのか。

答 来場者や売上的大幅増につながり、SNSでも話題になった。今後は様々な企画も検討し、スタンプラリーや体験型企画で市内回遊と地域経済の活性化を目指す。

問 避難所の環境整備について。

答 災害時にも高齢者や乳幼児などが安心して過ごせる環境づくりに取り組んでいる。空調整備を進めており、柔道場・剣道場も含めた快適な避難環境の整備に向け、今後具体的な検討を進めていく。

多文化共生を目指して／AIを活用する英語教育について

岩 崎 彰 (蒼倫維新)



問 市民に占める外国人の人数と比率について。

答 8月1日現在2484人で、比率は3.2%である。

問 共生社会を築くための日本語を学び日本人と接することのできる団体はあるのか。

答 ボランティア団体行田にほんご教室があり、外国人を対象に、日本語学習を通じた文化・習慣の取得支援を行う。

問 市からのサポートにはどのようなものがあるか。

答 公益を目的として活動する団体に対しては、地域活動推進課において各種相談からイベントの企画や実施等運営のサポートを行っている。補助金は、行田市市民活動やる気応援助成金制度がある。

問 AIを活用する目的は。

答 タブレット端末のAIAアプリを使用し、いつでもどこでもAIと会話ができる。子どもたちの発音は録音され、AIが分析・判定、数値化した評価が即座に本人へ返るため、自身の英語力の把握、個別最適な学びと学習意欲の向上に結び付くと考えている。



空き家問題について

村田 清治 (令和研究会)

問 本市では、現在調査済みの空き家はどのくらいあるか。

答 本年7月末時点で調査等に基づき把握している空き家の総数1422軒のうち健全な空き家が816軒、問題のある空き家が606軒である。

問 周辺住民が危険と感じている空き家所有者や相続人に対し、どのような対応をしているか。

答 現場を確認後、戸籍謄本などから所有者や相続人を調査し、行田市老朽空き家等の適正管理に関する条例に基づき指導文書の送付や訪問指導を実施している。

問 国土交通省が定めた特定空き家に対するガイドラインに適合する空き家は存在しないのか。

答 本年7月末時点でマニュアルに基づき管理不全空き家等に認定した物件はないが、今後は状況に応じてマニュアルに基づき認定を行い、必要な対応を図る。

〔その他の主な質問〕

○農業委員会の農地法違反対応について



田中 和美 (公明党)

問 教員によるわいせつ事件が次々と発覚したが、本市にこのような事案はあるか。

答 現時点において、教職員から児童生徒へのわいせつ事案は発生していない。

問 本市における教職員への対応は、どう行っているか。

答 各学校において定期的に校内研修や倫理確立委員会の実施、不祥事チェックリストを活用する等、不祥事根絶に向け取り組んでいる。

問 児童生徒に対する対応は、

答 児童生徒がわいせつ行為に遭ったり、大人との接触到違和感を覚えた時にはすぐにSOSを出せるよう、さわやか相談員やスクールカウンセラー等教職員以外の相談窓口を周知している。

問 県教育委員会から県立学校へ盗撮防止等のガイドラインが策定されたが、本市における策定の予定は、

答 本市は本ガイドラインを9月中に策定予定としている。

〔その他の主な質問〕

○市内循環バス行田病院前他停留所の上屋等設置について



原水禁世界大会に中学生の派遣を／学校再編、市の説明は十分なのか？

村田 秀夫 (日本共産党)

問 世界に平和の願いを発信する国際的な場である広島、長崎で開催される原水爆禁止世界大会に市内中学生を派遣してはどうか。

答 まずは生徒の平和を願う気持ちを醸成していった中で、派遣について引き続き調査、研究していきたい。

問 国が示す義務教育学校の標準規模は全体で27学級以下、1学年2学級でも良いとしているのに、忍・行田等のB地区は42学級で1400人を超えるマンモス校になる。市の再編後の学校規模は適切といえるのか。

答 20年後も持続可能な学校とするためである。

問 義務教育学校の教員は、原則、小中両方の免許状を持つ必要があるが、現状と今後の教員確保の見込みは、

答 小学校教員の47%、中学校教員の13%が両方を併有している。今後、学校再編を進める中で、教員の確保に努めていきたい。

〔その他の主な質問〕

○こども誰でも通園制度



生活保護受給者の年金請求申請について

養田 英雄 (蒼倫維新)



問 県内他市の年金調査業務による生活保護費の削減状況を考えて、本市においても年金請求漏れによる生活保護費の過払いが生じている可能性はあるのではないかと。

答 年金調査業務を実施している市に確認したところ、実際に年金の請求手続に至ったケースもある。本来、本人が年金の請求手続をするもので、本市においても、受給要件を満たすにもかかわらず受給できていない方がいる可能性はあると思われる。

問 生活保護受給者の方が増えていくと、当然ながら生活保護に起因する扶助費も増大していく。この増大する生活保護費を抑制するために、早急な年金調査支援業務の導入が必要だと思うが、見解を伺う。

答 公的年金の受給要件を満たす方については、年金の請求手続を行っていたかどうかが必要だと考えている。本市での導入については、他の自治体へのヒアリングなどさらなる調査研究を進めていく。

学校再編で生じる備品の

“行方”に光を当てよ

新 諒 平 (令和研究会)



問 再編に伴い発生する大量の備品について、管理・活用の体制は十分か？

答 教育委員会および市長部局で適切に管理しており、物品会計規則に則って処分・再利用・売却等の対応を行っている。

問 各学校にある備品は全市的に把握されているのか？

答 現状では紙の台帳で学校ごとに管理しており、全体の把握はできていない。

問 備品の廃棄・保存の判断基準は統一されているか？

答 使用不能の判断は校長の裁量で行っている。明文化された基準は存在しない。

問 廃校に残された楽器など、使用可能な備品はどう扱われているのか？

答 他校や公共施設に活用希望を確認し、残ったものは廃棄対象としている。現時点では譲渡や販売の仕組みは整っていない。

問 保管状態で劣化する物品は早期対応が必要では？

答 基本は廃棄の方針。適切な管理・処分を検討している。

ハラスメント防止条例検討委員会

行田市議会では現在、行田市議会議員と議員又は議員と職員が互いに人格を尊重し、議会及び議員としての役割を十分に発揮するため、議員間又は議員による職員へのハラスメントの防止及びハラスメントに起因する問題が生じた場合の対応に關し必要な事項を定め、より一層市民から信頼される議会の実現に資することを目的とし、ハラスメント防止条例を制定するための検討委員会を設置し、条例案の検討を進めています。

ハラスメントを受けない、しない、抑止するために、各種研修の受講とあわせて、より実践的な条例となるよう、引き続き協議してまいります。

| | |
|------|---------|
| 委員長 | 田 中 和 美 |
| 副委員長 | 野 本 翔 平 |
| 委員 | 小 林 淳 一 |
| 委員 | 村 田 清 治 |
| 委員 | 新 田 諒 平 |
| 委員 | 村 田 秀 夫 |
| 委員 | 岩 崎 彰 |
| 委員 | 福 島 ともお |

令和7年 8月14日
～11月11日

8月

- 18日 幹事長会議
- 18日 1日市長体験(議会対応体験)
- 19日 宮城県気仙沼市行政視察来庁
- 25日 議会運営委員会
- 27日～28日 全国市議会議長会研究フォーラム

9月

- 1日～29日 9月定例会
- 4日 災害対応訓練(LINE活用訓練)
- 10日 議会だより編集委員会
- 18日 全員協議会
- 24日 議会改革推進委員会
- 29日 幹事長会議
- 29日 議会運営委員会
- 29日 議員説明会

10月

- 1日 ハラスメント防止条例検討委員会
- 9日～10日 全国都市問題会議
- 17日 第4区市議会議長会議員研修会
- 20日 埼玉県羽生市行政視察来庁
- 20日～22日 建設環境常任委員会行政視察(愛知県豊田市、岐阜県高山市、石川県金沢市)
- 21日 福岡県福津市行政視察来庁
- 23日 議会だより編集委員会
- 23日 福島県会津若松市行政視察来庁
- 24日 議員説明会/幹事長会議
- 27日～29日 健康福祉常任委員会行政視察(岩手県北上市、山形県天童市、福島県伊達市)
- 28日～30日 総務文教常任委員会行政視察(長野県長野市、福井県福井市、富山県高岡市)
- 31日 島根県松江市行政視察来庁

11月

- 10日 幹事長会議
- 10日 議会改革推進委員会

一日市長体験(議場体験)



8月18日、子どもたちの市政への関心や理解、郷土愛を深めることを目的に、市内在住の中学生7人が「2日行田市長」に就任し、議場で議員からの質問に答える「答弁」の体験をしました。

議場では、参加した市議会議員から「市長のあなたが考える行田市の問題点やその解決策、理想の行田市、市長としてやりたいこと」について質問し、それぞれの意見や提案、本市への思いを身振り手振りを交えて答弁されました。とても参考になる意見として、議員も熱心にメモを取っていました。

災害対応LINE訓練を実施

市議会では、災害時の安否確認として、議員と議会事務局職員全員が参加するLINEのグループ機能を利用しています。

9月4日、9月議会の休憩中に、『本市において震度5強の地震が発生し、災害対策本部の設置及び指定避難所の開設準備が進められている』という設定に対し、議員自らの安否と避難状況について報告を行う訓練を実施しました。

災害発生時には議員も安全を確保したうえで指定避難場所へ避難する必要があります。今後も定期的に訓練を行ってまいります。



埼玉県市議会議長会 第4区議長会議員研修会



10月17日、埼玉県市議会議長会第4区議長会議員研修として、加須市の加須文化・学習センター「パストラルかぞ」小ホールにおいて開催され、NHK解説委員の相澤祐子氏による「若者・女性にも選ばれる地方へ」地方議会に期待することと題した講演を聴講しました。

今まさに地方が直面している問題について、的確で分かりやすい解説と問題提起があり、市議会としてもさまざまな角度から人口減少をはじめとした諸問題への解決策について、改めて考えていく必要があると実感しました。

市議会を傍聴してみませんか

12月 行田市議会定例会 日程表(予定)

12月定例会は11月27日(木)
開会予定であり、
日程(案)の決定は11月20日(木)
予定の議会運営委員会で
決まります。



市議会には定例会(3月、6月、9月、12月)
と、必要がある場合に開かれる臨時会とが
あります。
議場は市役所の3階にありますので、
エレベーターをご利用ください。※定員50名

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|-------|---------------------|---------------------------|--------------------|-------------------------|-------------------------------------|----|
| 11/23 | 24 | 25 | 26 | 27 本会議/招集日 (提案説明) | 28 (議案調査) | 29 |
| 30 | 12/1 (議案調査) | 2 本会議 (議案質疑) | 3 本会議 (一般質問) | 4 (休会) | 5 本会議 (一般質問) | 6 |
| 7 | 8 本会議 (一般質問) | 9 本会議 (一般質問・委員会付託等) | 10 議案調査 | 11 建設環境 常任委員会 | 12 健康福祉 常任委員会 | 13 |
| 14 | 15 総務文教 常任委員会 | 16 (事務整理) | 17 (事務整理) | 18 (事務整理) | 19 本会議/最終日 (委員報告・質疑・討論・採決・閉会) | 20 |

※日程は予定であり、変更となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。



議会の情報は市の公式LINEからも
発信しています!!



本会議の日程や議会だより等につ
いてお知らせしています。
ぜひご利用ください。



友だち追加は
こちらから

※画面はイメージです。

| | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|------|-----|
| 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 副委員長 | 委員長 |
| 福島 | 小野 | 養田 | 村田 | 野本 | 新 | 大屋 | 駒見 |
| とも | 寺貴 | 英雄 | 秀夫 | 翔平 | 諒平 | 彰 | 行彦 |

編集委員

(大屋 彰)

いつも「ぎょうだ議会だより」をお読みいただき、誠にありがとうございます。
今年の田んぼアートはご覧になりましたか? 圧倒的なクオリティで、SNS等で「素晴らしい」「感動した」「世界の人に見てもらいたい」といった賞賛の声が上がっており、より多くの人が行田市に興味を持ち、訪れるきっかけにもなっています。
より良い行田市の未来を築いていけるよう、議員一同、さらに努めてまいります。

編集後記